

(社)日本建築学会 九州支部 11月常議員会議事録

記録 真鍋

日時：2004年11月26日(金)14:00～17:20

場所：九州支部事務局会議室

出席者：崎野支部長

赤司総務幹事、石田学術幹事、伊東会計幹事、本間常議員、伴丈常議員
有馬常議員、木村常議員、尾崎常議員、栗山常議員、真鍋常議員、森下常議員
事務局(伊地知)

・前回議事録確認

下記事項について確認し、了承した。

- 1. 7月常議員会議事録(案)(栗山常議員) メールにて送付済み
- 2. 10月幹事会議事録(案)(有馬総務幹事) メールにて送付済み

・報告事項

1. 本部関係報告

- (1) 9月担当理事会報告(崎野支部長) 回覧1
- (2) 10月理事会(崎野支部長) 回覧2
 - ・建築学会大賞候補の報告があった。
 - ・委託研究2件について報告があった。
 - ・国際文化会館の保存について、学会として協力する。
 - ・2004年度建築学会大会は参加者数が歴代最大であり、赤字とはならなかった。
 - ・科研費の審査員について
- (3) 11月担当理事会(崎野支部長) 回覧3
 - ・新潟地震に関する報告があった。
 - ・特色ある支部活動について
- (4) 11月支部長会議報告
- (5) 10月学術推進委員会報告(木村学術幹事) 資料1・回覧4
 - ・2004年度建築学会大会の報告があった。
 - ・2005年度建築学会大会は近畿大学で開催する。

2. 支部関係報告

- (1) 7～10月の業務報告(赤司,有馬総務幹事) 資料2
 - ・連続まちづくりセミナー、「作品選集2005」支部選考会などの開催があった。
 - ・7/23日開催の支部常議員会について報告があった。
- (2) 7～10月の会計報告(伊東,尾崎会計幹事) 資料3
 - ・適正であるとの報告があった。
- (3) 「作品選集2005」九州支部審査結果について(石田,木村学術幹事) 回覧5
 - 応募件数などの報告があった。
 - ・応募件数27件,支部推薦14件,本会入選9件
- (4) 支部共通事業設計競技(木村学術幹事) 資料4

- 1) 2004 年度「建築の転生・都市の転生」本会審査結果について
入選者に関する報告があった。
支部入選 14 点中 佳作：江口聡一郎君，他（九州大学），武田直人君，他（熊本大学）
タジマ奨励賞：3 点
- 2) 2005 年度課題アンケート結果ならびに実施日程について
「風景の構想 - 建築をとおしての場所の発見」
- 3) 2005 年度支部審査委員について
下記のメンバーが選出された。
3 名留任（鮎川透，黒瀬重幸，有馬隆文），2 名新任（大塚豊一，（末廣香織））
- (5) 2005 年度大会研究集会のテーマ立案依頼（石田，木村学術幹事） 回覧 6
下記の報告があった。
・支部締切：2004 年 10 月 12 日，本会締切：2004 年 10 月 29 日
・なしで回答済み
- (6) 2004 年度（第 44 回）日本建築学会九州支部研究発表会募集要項について（石田，木村学術幹事） 資料 5
・会告掲載，HP 公開済みの報告があった。
- (7) 2004 年度支部会計上半期の予算執行状況について（伊東，尾崎会計幹事） 資料 6
・法人会員の入金が芳しくないことが問題点として指摘され、法人会員数を維持する努力が必要であるとの報告があった。
- (8) 2004 年度支部共通事業「建築物荷重指針」改定講習会（赤司総務幹事）
・2004 年 9 月 29 日（水），参加者数：72 名
- (9) 電子会議（テレビ会議）への通信環境移行の件（赤司総務幹事）
・初期費用は本会が全額負担，11 月支部長会議で実施された。
- (10) 特色ある支部活動企画案について（小路常議員，木村学術幹事） 資料 7・回覧 7
援助額 50 万円で採用が決定され，予算の範囲内で実施する報告があった。
・交付期日 2005 年 4 月上旬，事業期間 2005 年 4 月～2006 年 3 月
・事業前に具体的なタイムスケジュールを本会事務局まで連絡。
・事業後，会計報告と事業報告を提出。
- (11) 日本建築学会会員名簿（2005 年版）各支部概要確認のお願い（赤司総務幹事） 資料 8
修正を確認した報告があった。
- (12) 2004 年度日本建築学会建築文化事業「建築文化週間 2004」（伴丈常議員） 資料 9・回覧 8
下記事業を実施し，収支はわずかに黒字の報告があった。
・「鹿児島市近代化遺産めぐり」10 月 16 日実施済み，参加者 50 名
- (13) 親と子の都市と建築講座について（伴丈常議員） 資料 10
・「灯明（アカリ）をデザインしよう」10 月 28 日実施済み，参加者 47 名
- (14) 第 2 回 2004 年度支部費等の交付金送金のお知らせ（伊東，尾崎会計幹事） 資料 11
予定金額（計 1,994,500 円）の送金があった。
- (15) 事務パートの件（赤司総務幹事）
現在の人をやめたので，池田君を新規に採用した。
- (16) その他（赤司総務幹事）
1) 寄贈図書 回覧 9
下記図書が回覧された。
・2004 年度大会（北海道）学術講演梗概集
・建築物荷重指針・同解説（2004），同スライド資料
・建築構造展 in CD（JSCA 九州支部 2004）

- ・徳利屋原家住宅調査報告書
 - ・加納屋深澤家住宅調査報告書
 - ・重要文化財長谷寺本堂調査報告書
 - ・2003 年度建築設計優秀作品集（工学院大学）
- 2) 各団体主催事業への後援・協賛依頼について 資料 12
- ・第 1 回仮設工学ワークショップ - 仮設工学の体系化を目指して（九州大学 21 世紀 COE プログラム「循環型住空間システムの構築」）
- 3) 各団体主催事業開催案内，その他 回覧 10
- ・第 1 回仮設工学ワークショップ - 仮設工学の体系化を目指して（九州大学 21 世紀 COE プログラム「循環型住空間システムの構築」フォーラム） 資料 1 2
 - ・くまもとアートポリス 2004 とユニバーサルデザイン展
 - ・建設リサイクル法パトロール強化週間の協力依頼について（福岡県建築都市部）
 - ・原広司展：ディスクリート・シティ（ギャラリー・間）

・審議事項

1. 九州支部業績賞の推薦について（有馬総務幹事） 資料 13・回覧 11
 構造委員会から下記の推薦があり、表彰に決定した。
 日本建築構造技術者協会 JSCA「建築構造展 in 九州」
2. 大災害に対する災害調査体制整備および災害に関する市民啓蒙活動実施のお願い（赤司総務幹事） 資料 14
- ・「市民講座企画 WG」委員 1 名支部推薦：崎野支部長を推薦済み
 - ・災害調査体制整備に関する報告が求められたので、下記事項を報告した。
 九州支部内に「災害委員会」を立ち上げる。
 「災害委員会」は、すでに立ち上げている「災害情報ネットワーク」のメンテナンスをする。
 予算措置は、災害が生じた場合に必要に応じて措置する。
 「災害委員会」の立ち上げについては川瀬教授（本会の災害委員会委員，九州大学）が趣意書を作成する。
 趣意書は次回常議員会で審議する。
 - ・趣意書については下記内容を審議し了承した。
 - ・web に災害情報を載せる。
 - ・すぐ動ける委員会や必要なときに予算執行できる委員会が必要である。
3. 2005 年度九州支部通常総会の日程について（赤司総務幹事）
 下記日程に決定した。
 - ・本会通常総会：2005 年 5 月 30 日（月）14 時～
 - ・支部通常総会：2005 年 5 月 27 日（金）
4. 第 6 期代議員および支部役員（支部長・常議員）の選挙日程と推薦について（赤司総務幹事） 資料 15
- 大会の準備があるので支部長は大学関係者とし、推薦者は下記のように決定した。また、選挙管理委員は栗山常議員、真鍋常議員とした。
- ・選挙日程：支部締切 11 月 30 日，本会締切 12 月 10 日
 - ・推薦
 支部長：竹下輝和（九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築部門・教授）

代議員：赤司，石田，伊東，本間，黒坂（確認要），廣瀬（確認要）（6名以上）

支部役員：

太記祐一（福岡大学工学部建築学科・助教授）

山成 實（熊本大学工学部環境システム工学科・助教授）

志賀 勉（九州大学大学院人間環境学研究院都市・建築部門・講師）

曾我和弘（鹿児島大学工学部建築学科・助教授）

未定（長崎から、担当：伴丈）

未定（行政から、担当：赤司）

未定（支部長枠）

5. 2005年度日本建築学会大賞業績候補の推薦依頼について（赤司総務幹事） 資料 16
下記のような推薦がきたが、青木先生は辞退したため2名の人が候補となっている。通常、支部推薦は1名なので、両者に投票で決定することを伝えることにした。後日、常議員の投票で決定することになった。
 - ・本会締切：2005年1月24日（月）
 - ・推薦
多田先生（福大・木村学術幹事），堀内先生（熊大・伊藤先生），青木先生（九大・池添先生）
6. 2005年度日本建築学会文化賞業績候補の推薦依頼について（赤司総務幹事） 資料 17
本会締切：2005年1月31日（月）であるが、現在のところ候補はない。
7. 2004年度日本建築学会九州支部研究発表会について 資料 18
 - ・講演会・懇親会・研究発表会について（本間常議員，赤司総務幹事）
資料に基づいて説明があり、了承した。
 - ・2004年度支部事業促進費企画の申請について（本間常議員）
 - ・1月号会告について（本間常議員）
 - ・教室割りについて（本間常議員）
 - ・研究報告集の印刷見積もりについて（赤司総務幹事）
見積もりなどを検討した結果、秀巧社に決定した。
 - ・プログラム編成作業の手順と日程について（石田学術幹事）
例年どおりのスケジュールで実施する。
 - ・発表登録システム構築とアルバイト代について（石田学術幹事）
作業が大変であった。大学のサーバを使用しているのいろいろな問題があり、今後検討していく必要がある。
8. 2005年度日本建築学会九州支部研究発表会の開催地等について（赤司総務幹事） 資料 19
尾崎会計幹事より学内で承諾されたとの報告があった。
 - ・開催地：福岡，開催月：2006年3月
 - ・候補：北九州市立大（尾崎会計幹事）
9. 2005年度支部文化事業企画委員会の委員について（伴丈常議員） 資料 2
下記ようになった。
 - ・担当支所：熊本（牧野雄二支所長へ連絡要）
 - ・次期担当支所：長崎（村田明久支所長へ連絡要）
 - ・日程：1月常議員会
10. 受託調査の受託について（仮）（赤司総務幹事） 資料 21
下記報告があり了承した。
 - ・期 間：契約日より2005年3月10日
 - ・調査事項：空調設備の性能検証（コミッションング）によるオフィス使用エネルギー削減に関

する研究(その1)

- ・委託費：1,050,000円
- ・委託者：西日本技術開発株式会社
- ・受託者：日本建築学会九州支部 支部長 崎野健治
- ・調査特別委員会委員長：赤司泰義(九州大学助教授)を希望

11. 日本建築学会作品選集支部選考部会委員の推薦について(石田, 木村学術委員) 資料 22
資料に基いて承認した。
・任期：2005年6月～2007年5月

12. その他 資料 23

- ・2004年秋の叙勲・褒章者の報知依頼について
あれば、お願いする。
- ・支部共通事業設計競技支部入選の表彰状について(木村学術委員)
「建築の転生・都市の転生」の課題英文名について検討し、有馬幹事に依頼することになった。
- ・支部研究報告の連名資格の件(赤司総務幹事)
下記のような問合せがあった。検討の結果、今年度は支部規定どおりに会員限ることになった。また、来年より、支部も大会と同じ規定にすることになった。
・韓国の先生との共同研究で、韓国の先生を連名にしたいが会員になっている必要があるか。
本会へ問合せたところ、大会は認めている。支部は支部で決めてくださいとのこと。現在の支部規定：「2 応募資格：講演発表者は本会個人会員であって、共同発表者(連名者)も本会会員であること」HPより

・次回会議日程

1. 12月幹事会
日時：2004年12月24日(金)10時～12時
場所：九州支部事務局会議室
2004年12月理事会日程：12月15日(水)
2. 1月常議員会
日時：2005年1月 21or24 日(金 or 月)14時～
場所：九州支部事務局会議室
2005年1月担当理事会：1月19日(水)
文化事業企画委員会：13時～14時